

たからづかの

ダリア



宝塚市立宝塚園芸振興センター

あいあいパーク

もくじ



ダリアの基礎知識 1

花型による分類 ————— 2

花色による分類 ————— 4

花の大きさと

草丈による分類 ——— 4



ダリアの育て方 4

育てる前に ————— 6

庭植え栽培のポイント — 7

鉢植え栽培のポイント —12

上佐曽利地区とダリア —14



宝塚のまちを花でいっぱい!

「ダリアで彩る花のまちづくり事業」を展開します

宝塚市北部の上佐曽利地区では昭和5年にダリアの栽培が始まり、今日に至るまで80有余年にわたって、歴史ある花き園芸が営々と続けられています。

ダリアは、多種多様な色や形をもつキク科の多年草で、3万種以上の品種があると言われています。

上佐曽利地区では、独自に改良された「華すみれ」や「ジェンヌ」など、約300種のダリアが毎年7月と10月に咲き誇り、市内外から多くの方が訪れます。

毎年10月の第3土・日曜日には、「ダリア花まつり」が開催され、様々なダリアが楽しめる花摘みや地元産農産物などの販売で賑わいます。

さて、平成26年は宝塚歌劇100周年、市制60周年、手塚治虫記念館20周年のトリプル周年に当たります。この節目の年を記念して、新たに「ダリアで彩る花のまちづくり事業」を宝塚市と協調して展開します。

ダリアを市内各所で楽しめるよう、市民の皆様や関係団体との協働のもと、まちかどの花壇や公園などに植栽していきます。

また、ダリアにまつわるイベントや栽培講習会も開くこととしており、宝塚市の歴史あるダリアの魅力を多くの方に実感していただければと願っています。

ダリアはメキシコからグアテマラにかけての高原地帯が原産の球根植物です。

古代アステカ帝国ではダリアは神聖な花とされており庭などで栽培されていました。現地名はアコクトリ(水笛の意味)で、花茎がストローのように中空になっているところに由来するとされます。

1789年、メキシコシティー植物園からスペインのマドリッド植物園にタネが送られたのがヨーロッパでの栽培の始まりです。当時のマドリッド植物園園長が植物学者のアンドレアス・ダールの名前に因んで「ダリア」と名付けました。やがて世間に広がっていき様々な品種が生まれるようになりました。

現在広く親しまれているのは、野生種を掛け合わせて作られた園芸品種群です。非常に多くの品種があり、花の形や大きさなどで細かく分類されています。

日本には天保12年(1841年)、オランダによってもたらされたとされます。入ってきた頃はテンジクボタン(天竺牡丹)と呼ばれ、明治も中頃を過ぎた頃には一般でも盛んに栽培されるようになり、明治の末には赤坂で第1回のダリア品評会が開催されたそうです。大正時代には「日本ダリア会」が設立されました(一時活動休止後、2004年より再開)。現在では家庭園芸はもちろん、各地のダリア園でたくさんの種類を見ることができます。



ダリアの基礎知識



科名:キク科

学名:Dahlia

別名:テンジクボタン

原産地:メキシコ グアテマラ

樹高:20cm~2m

主な開花期:7月~10月

ダリアの基礎知識

ダリアは非常に多くの園芸品種があり、花の大きさやかたち、草丈で分類されています。

ダリアは大輪種の豪華さ、小輪種の愛らしさ、様々な花色や形などその種類の多さが大きな魅力です。先祖となる野生種には高地に自生するものが多いため、暑さに弱いのが難点です。初夏に一番花が咲いたあと、夏は花が咲きやんだり花色が鈍ることがありますが、気温の下がる秋になると、再び冴えた色の花を咲かせます。花の色は非常に豊富で、青以外はほぼ揃っていると言っても過言ではありません。

春に球根を植え付けて夏から秋に花を楽しむのが一般的ですが、タネから育てられる品種もたくさんあり、挿し芽によって育てる楽しみ方も広がっています。

おもな花型による分類

デコラティブ咲き

完全な八重咲きで、舟形の長い花弁が幾重にも重なって規則正しく並び豪華で重厚な印象を与えます。



カクタス咲き

完全な八重咲きで、花弁は外側に巻き、細長く尖ったように見えます。花サボテン（カクタス）の花に似ているところから名付けられました。花弁がまっすぐになる「ストレートカクタス」、花弁の先端が内側に巻く「インカーブドカクタス」、やや幅広の「セミカクタス」の3種に分けられます。



フリル咲き

花弁の先が魚の尾びれのように割れ、フリルのようにになっているものです。



スイレン咲き

八重咲きで、デコラティブ咲きとよく似ています。花弁はやや少なめで、幅広な趣きをかもし出しています。



ボール咲き

完全な八重咲きで、花弁は内側に巻いています。名前のとおり、ボール（球）状になっています。花径が5 cm以上のものをいいます。



ポンポン咲き

ボール咲きと同じような咲き方ですが、花径が5 cm以下のものをいいます。



シングル咲き

一重咲きで花弁が外に1列に並び、花芯があります。コスモスによく似た咲き方です。通常8弁で種子繁殖が容易にできます。



ピオニー咲き

半八重咲きで、幅の広い花弁が大きく波打ち、花芯の部分が露出しています。



リリプット系 (トップミックス系)

花径が2インチ(約5cm)以下で、矮性で多花性のもがあります。一重のものとは八重のものがあります。



アネモネ咲き

一重咲きで花芯部分の筒状花が長く伸び、花弁が外側に1列に並んでいます。ちょうど針山(ピンクッション)のような形をしています。



コラレット咲き

一重咲きで、8枚以上の花弁が外側に1列に並び、その内側にカラー(副弁)が発達しています。カラーとは襟の意味です。



ステラー咲き

オーキッド咲きの半八重から八重咲きといった感じの花です。オーキッド咲きと同じように、花弁の内側と外側で色が違うものもあります。



オーキッド咲き

一重咲きで花弁が内側に強く巻き、先端がとがっています。花弁の内側と外側で色の違うものもあり、ダリアの印象も様々に思えます。



特殊咲き

前記のどれにも属さない特色を持った咲き方をするものがあります。



花色による分類

花色には白、赤、桃、黄、オレンジ、紫、黒紫などがあります。また、花びらの先端が白くなる爪白、白地に赤や紫のぼかしが入る絞りがあります。



白色 (マジックモメント)



赤色 (セリーネ)



桃色 (プリンセスマサコ)



黄色 (涙水蓮)



オレンジ色
(オレンジクッション)



紫色 (コスモス)



黒紫色
(フィダルゴ・ブラッキー)



白爪 (祝舟)
花卉の先が白



絞り (虹)
白色の花弁に赤や紫が入ったもの



花の大きさ(花径)と草丈による分類 (日本ダリア会基準による)

花の大きさ(花径)による分類

超巨大輪(30cm 以上) 巨大輪(28cm 前後) 大輪(24cm 前後) 中大輪(21cm 前後)
中輪(17cm 前後) 中小輪(13cm 前後) 小輪(10cm 前後)

〈ボール咲き・ポンポン咲きの場合〉

ボール咲き：超巨大型(10cm 以上) 大型(10cm 前後) 中型(7cm 前後)
ポンポン咲き：小型(5cm 以下) ※ただし、花の大きさは気象条件により変わることがあります。

草丈による分類

極高性(150cm 以上) 高性(120cm ~ 150cm) 中高性(100cm ~ 120cm)
中性(70cm ~ 100cm) 中矮性(50cm ~ 70cm) 矮性(50cm 以下)



ダリアの育て方

ダリアを育てる前に

■ ダリアの性質

ダリアのふるさはメキシコ、グアテマラの高原地帯の日のよく当たる、夜は涼しいところです。生育中は比較的、水を欲しがりますが、ももとのふるさは高原地帯ですので、水はけのよいところを好み、株元に水がたまってしまうような環境下では、根腐れを起こして枯れてしまいます。したがってダリアをうまく育てるには、水はけをよくすることがいちばん大切なポイントです。

■ 球根を選ぶコツと植えつけ時期

3月初旬ごろから園芸店の店頭で球根が並び始めます。球根の細くなった首の部分がかかりして、芽(クラウン)が確実に付いているものを選びます。球根の大小はあまり関係ありません。(球根の形も様々で品種によっては細くなっていないものもあります)。芽が少し大きくなっているものなら確実です。緑の茎や葉が見えていても栽培には支障はありません。

植えつけ時期は、4～5月が最適です。暖地では3月から、寒冷地では6月でも植えつけられます。

また、7月に植えつけて秋に花を咲かせる場合は、春に手に入れた球根を涼しいところに保存しておきます。その場合、茎や葉が5～20cmほど伸びている場合がありますが、下から3節ほど残して先端を切り取り、植えても大丈夫です。



芽(クラウン)が折れている球根からは芽が出ません。折れていない球根を選ぶようにしましょう。

■ 花がいちばんきれいなときは？

ダリアは夏から秋の花といわれていますが、花の色は10月に入ってからが特に鮮やかになります。しかし、ほかにも美しく咲く時期があります。それは、梅雨明け前の一番花の咲くころです。5月の上～中旬に植えつけた場合、7月の中～下旬に一番花が咲き始めます。この時期のダリアは、1株ごとの草姿もすばらしく、花の色も秋に劣らず鮮やかです。特に黒葉系ダリアの一番花は、非常に幻想的で風情があります。

■ 栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花期							切り戻し(関東地方以西)冷涼地では8月でもきれいに開花する					
植えつけ期			球根の場合は少々植えつけ時期が遅れても大丈夫。種子の場合は1か月ほど早くまきます。									
掘り上げ分球	株の保存	球根の分球										球根の掘り上げ
肥料やり	庭植え:元肥…緩効性化学肥料(1㎡当たり50～80g) 鉢植え:元肥…緩効性化学肥料(1株当たり30g)					追肥(庭・鉢植えともに)…緩効性化学肥料(1株当たり30g)						
水やり					庭植え:夏の水やりは早朝がよい 鉢植え:夏は表面が乾いたらたっぷり							
薬剤散布				アブラムシ、アザミウマ類			ハダニ類		うどんこ病			

庭植え栽培のポイント

■ 1 植えつけ

植えつけ場所は水はけをよくすることがいちばん大切です。

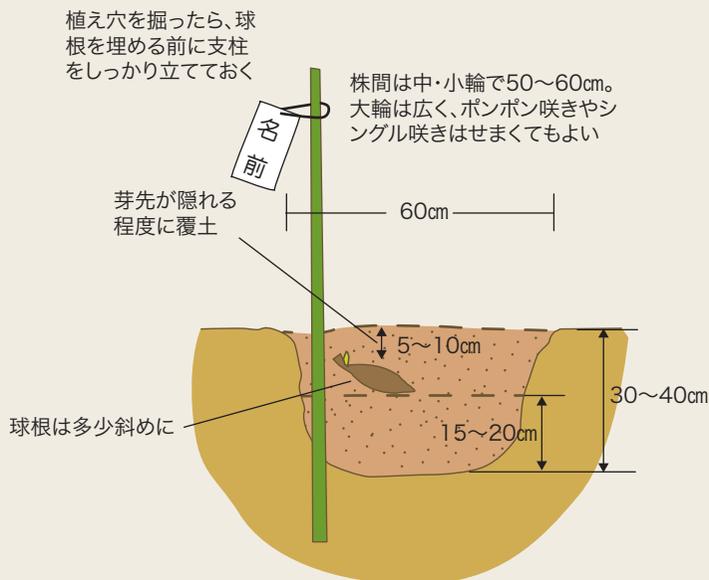
水はけが悪い場合は地面の下30～40cm掘り起こし、竹や木くず（バーク）を入れ、排水をよくします。または盛り土をして水はけをよくします。元肥は植えつけの1週間前に1㎡当たり緩効性化成肥料50～80gを土に混ぜておきます。球根は浅植えにして、後で周りの土を寄せて、盛り上げる方法が簡単です。

大輪、中輪のダリアは、植えつけ時に支柱を立てておくといいでしょう。植えつけ間隔は30～50cm以上あけます。

【注意点】

植えつけ後は、たっぷりと水を与えますが、初めにたっぷりやった後は、球根が腐るのを防ぐため、地上部に芽が出てくるまであまりやらないほうが得策です。特に庭植えでは、地上部に芽が出てくるまでは水やりの必要はありません。

また、ネキリムシ（カブラヤガの幼虫）などの虫害の予防として、粒状の殺虫剤を株元に5gずつ散布しておきます。



■ 2 発芽後の管理

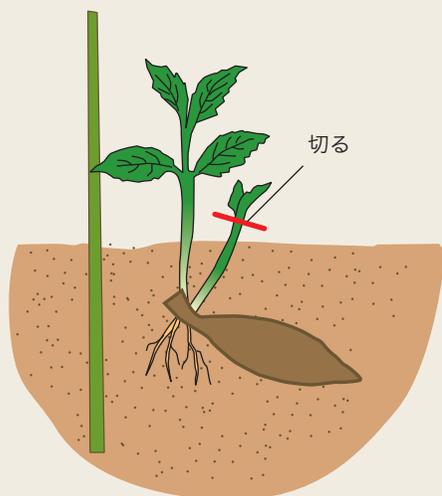
1つの球根から2つ以上の芽が出てくることがありますが、栄養分が分散されるので、いちばん丈夫そうな芽を残し、ほかはかき取ります。

この時期に腐葉土やピートモス・バークなどで株の周りをマルチング（被覆）します。ピートモスやバークを株の周りに敷き詰めることにより、夏場の土の表面の乾燥を防ぎ、梅雨時の土の跳ね上がりを抑えます。また、マルチングをすることで、花壇の見栄えもよくなります。

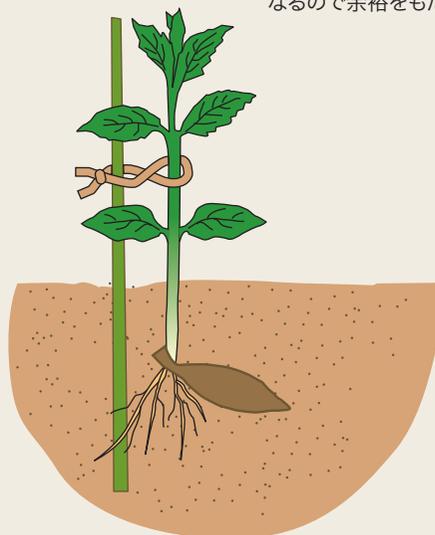
水やりは、庭植えの場合は、地面が白く乾いたら水をたっぷりやってあげば、特に問題ありません。

支柱に誘引する場合、茎にひもを巻いて1〜2回ねじって「8の字」に結びます。こうすれば、支柱に沿ってまっすぐ伸びやすくなります。茎がその後、生長するに従って多少太くなってくるので、少し余裕を持たせて大きめに結んでおきます。

丈夫そうな芽を1本残し、ほかは切るか、かき取る。ただし、ポンポン咲き、小輪の場合は切らなくてもよい



茎にひもを巻き、1〜2回ねじって8の字に結ぶ。その際、茎が多少太くなるので余裕をもたせる



■ 3 施肥

植えつけて1か月後に株から少し離れたところに、緩効性肥料（約30g：軽く一握り）を施します。

また、8月の終わりから9月初めにかけて夜が涼しくなってきたら、秋の花を咲かせるために同様に施します。ただし、黒葉系のダリアの場合、肥料と水が多いと葉があまり黒くならないので注意してください。

■ 4 花の仕立て方

＜巨大輪・大輪の場合＞

巨大輪、大輪の品種は一本仕立てにするとよいので、わき芽をできるだけ摘みます。球根から出た主茎を伸ばして花を咲かせます。地面から2節目までに出てくるわき芽を残して（節の両側から2本のわき芽が出てきます。合計4本の茎が伸びてきます）、それより上のわき芽をすべて摘み取り、一番花を咲かせます。一番花が終わると、残したわき芽が生長して花を咲かせます。こうすると、丈の低いしっかりしたダリアに仕立てることができます。

また、花が咲く前に花台を付けると、側枝があまり暴れません（それぞれの側枝に支柱をつけてもかまいません）。また、大輪、巨大輪には、菊栽培に利用する輪台を付けるとよいでしょう。

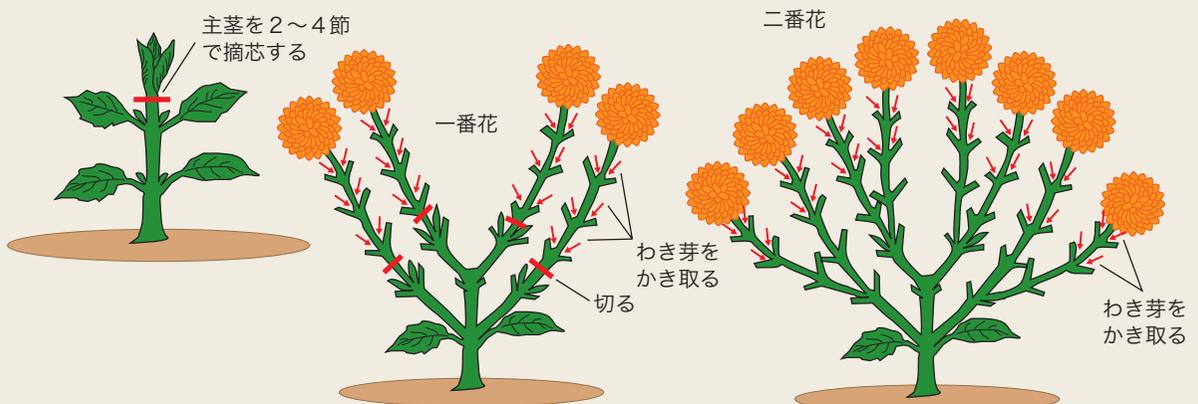


＜中小輪の場合＞

中小輪は、芽が出てから約1か月たったころ地上から2～4節のところで摘芯します。そこから出たわき芽をさらに2～3節で摘芯します。このころはまだ茎の中が空洞になっていないので、そこから水が入って枯れてしまうことはありません。

摘芯したわき芽は、挿し芽としても利用することもできます。もし、摘芯の時期が遅れてしまい、茎に空洞ができているようであれば、摘芯跡から水が入らないように、アルミ箔などで覆うとよいでしょう。

この摘芯を数回繰り返すと花は小ぶりになりますが、たくさんの花を一斉に開花させることができます。小輪の品種などでは、小菊のような花の咲き方が見られます。



■ 5 切り戻し

梅雨が明け、一番花が終わる頃には30℃を超えるような暑さが続くようになります。

ダリアは高温が苦手なので、急激に生育が衰えて生気がなくなってきます。花も色あせたり、蕾の状態のまま、枯れてしまうことがあります。このような場合は「切り戻し」をし、思いきって株を休ませてやります。

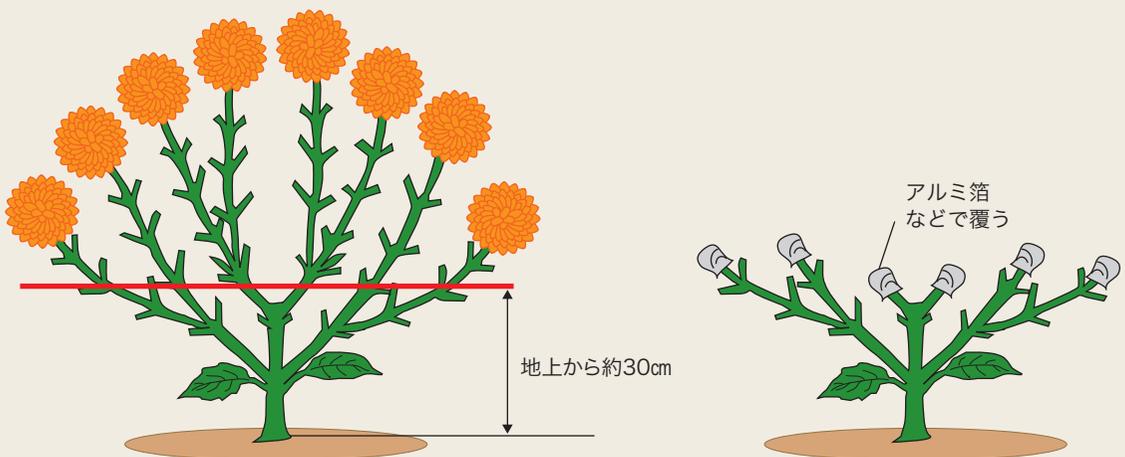
8月上旬～中旬にかけて、春から伸びて太くなった茎を、思いきって3～4節（地上から20～30cm）で切り戻して株を休ませてやります。3～4日晴天が続き、土が乾燥したところに行います。そうすると9月の初めごろに節の部分から新芽が出てきて、秋にまた、きれいな花が楽しめます（冷涼地では8月もきれいに開花するので、切り戻しの必要はありません）。

ダリアの茎は筒状になっています。雨水が根元の球根のところにたまり、そこから腐ってしまうこともあります。そこで雨水を防ぐため、太い切り口はアルミ箔などで覆いをします。

切り戻し後は水の吸い上げも少なくなります。特に鉢植えの場合、いつものようにたっぷり水をやると過湿状態になってしまい、株が枯れる原因になることがあります。切り戻し後は、水をできるだけやらないようにします。春に球根を植えたつたころのように、土が乾いて白っぽくなってから水をやるようにします。鉢植えの場合には木陰や家の北側の涼しい場所に移し、2日に1回、土の表面が白くなったら水をやるように、乾かしぎみに管理します。

8月の終わりになると株元の節から新芽が伸びてきます。元気のよい芽を2～4本残して摘み取ります。新芽が5cmぐらいに伸びたとき、株の周囲に化成肥料を一握り、粒状の殺虫剤を少々散布します。

鉢植えの場合も新芽が5cmぐらいに伸びたとき、鉢の周囲に化成肥料を一握り、粒状殺虫剤を散布します。その後、鉢を日当たりのよいところに戻し、ふつうに水やりを再開します。液体肥料も、10日ごとに与えるようにします。



■ 6 花の咲かせ方

ダリアは茎の最上部の止め葉の位置から通常3本の花梗（複数の花をつける共通の柄）を伸ばします。中心の花梗に主蕾ができ、その両側の花梗に側蕾をつけます。ふつうは側蕾を花梗ごと取り除き、中心の主蕾を残して花を咲かせます。特に大輪を咲かせる場合には、このような方法をとります。

小輪など、たくさん花を咲かせたい場合などは主蕾をかき取り、側蕾を残して1本の枝に2本の花を咲かせます。側蕾がさらに側蕾をつけるときは、中心の1本を残します。ポンポン咲き種の場合は摘蕾（ピンチ）せずに、すべての花を咲かせてもかまいません。

■ 7 球根の掘り上げ

晩秋になって霜が降り、株が枯れてきたら、ダリアの球根の掘り上げの時期です。

暖地ではそのままにしておいても越冬しますが、寒冷地では、寒さにあうと球根が腐敗するので、霜が降り、地上部が枯れてから掘り上げます。掘り上げた球根は、段ボール箱などに入れ、おがくずなどを詰めて、凍らないようにして保存します。

ダリアで一般的な繁殖方法は、球根繁殖ですが、球根の首の部分にあたるところに芽（発芽点：クラウン）が付いていなければ発芽しません。

ところが実際は、その芽を見分けることが難しく、熟練した球根の生産者でないと区別が付きません。

実際に家庭で球根を分けるときは、掘り上げた時点で分球するのは非常に難しいので、掘り上げた株ごと保存しておきます。暖かくなってくると、芽が白くなりだんだん大きくなっていくので、よくわかるようになります。

また花後にできた種子を翌春まくと、さまざまな形質のものが発現するので、それを楽しむこともできます。

特にシングル咲きの品種の場合、次の世代はいろいろな形質が発現しやすく、さまざまな色のダリアが楽しめます。



鉢植え栽培のポイント

最初に説明したように、ダリアは中米の高原地帯の比較的涼しいところがふるさとです。そこには雨季と乾季があり、自然状態ではダリアは雨季に生長します。鉢植えの場合でも、できるだけそういった環境に近い状態で育ててやるのがいい花を咲かせるコツです。

■ 事前に用意するもの

〔事前に用意するもの〕

球根：発芽点のある無病で健全なもの。

肥料：発酵済み油粕などの固形肥料、草木灰、化成肥料、ハイポネックスなど

鉢：中輪と大輪は12号以上のもの。小輪とボンボン咲きは10号のもの。不織布のポットでもよい。

支柱：1m前後の細いもの（1鉢に3～4本）

用土：市販の培養土

（草花用、プランター用など）、
大粒の赤玉土（またはごろ土）

■ 1 植えつけ

鉢はできるだけ大きめのもの（小輪、矮性では直径15cm以上、中大輪ならば30cm）を用意しましょう。植えつけは、桜が満開を過ぎるころに行います。関東地方以西の夏が暑すぎる地域では、6月中に花が咲くように桜の蕾の固いころに植えつけます。

水はけをよくするために、鉢底に大粒の赤玉土（またはごろ土）を敷き、その上に油粕などの固形肥料を10個ほど並べます。

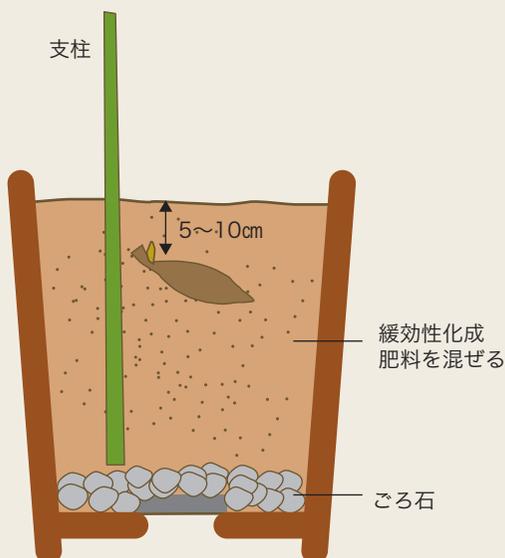
排水と、保水性のよい培養土を鉢の6分目ぐらまで入れ、ひと握りの草木灰、化成肥料と粒状の殺虫剤を少々加えて混ぜ合わせます。

そこに球根を、発芽点を上にして横に寝かせて置き、培養土で8分目まで覆土します。また、庭植えの場合と同様、支柱を立てておきます。

夏の直射日光で株が弱ってしまうことがあるので、西日や強い日ざし、照り返しを避ける場所に置きます。

【注意点】

庭植え同様、ネキリムシなどの害虫の予防として、粒状の殺虫剤を株元に5gずつ散布するとよいでしょう。



■ 2 水やり

植えつけ後にはたっぷりと水をやります。ただし、鉢植えの場合は、芽が地上に出てくるまでに水を与えすぎると、球根が腐ってしまうことがあります。目安として4～5日に1回、表面が白く乾いたら、たっぷり水をやりましょう。

その後、芽が地上部に出てくるまでは、乾いたら与える程度にします。芽が出てこないからといって、どんどん水をやると球根が腐ってしまいます。

芽が出てからは、水やりがいちばんだいじな作業になります。ダリアは水はけがよいところを好みますが、原生地では雨季に生育するように水を好む植物です。

草丈が、ある程度大きくなってきたときに、一時的に水を切らすと鉢の中の水がすぐになくなり、地上部と地下部の水分のバランスがくずれ、すぐにしおれてしまいます。水を与えると回復しますが、これが繰り返されると花の質が悪くなります。生育が旺盛な時期はできるだけしおれさせないように、雨天の日を除き、たっぷり水をやります。

■ 3 施肥

植えつけ1か月後に植木鉢の縁に、緩効性肥料（約30g：軽く一握り）を施します。さらに蕾ができるまでは10日に1回、液体肥料を与えるとよいでしょう。

■ 4 仕立て方

巨大輪、大輪の品種は一本仕立てにするとよいので、わき芽をできるだけ摘みます。ただし、地面から2節目までに出てくるわき芽は残しておきます（節の両側から2本のわき芽が出てきます。合計4本の茎が伸びてきます）。それより上のわき芽は、すべて摘み取ります。そうすると一番花が終わってから、残したわき芽が生長して次の花を咲かせます。花が咲く前に、菊栽培で利用する輪台を用いるとしっかりした花を咲かせることができます。

中小輪は、庭植えと同じように仕立てます。

■ 5 切り戻し

思いきって、2～3節を残して切り戻しをします。8月の終わりになると新芽が伸びてきます。元気のよい芽を2～4本残して摘み取ります。新芽が15cmぐらいに伸びたとき、鉢の周囲に固形肥料を埋め込み、化成肥料、草木灰をそれぞれ一握り、粒状の殺虫剤少々をばらまきます。

また、植えつけ時に入れた土が減っているので、9分目くらいまで培養土を増し土します。その後、鉢を日当たりのよいところに戻し、ふつうに水やりを再開します。10日ごとの液体肥料も与えるようにします。

球根生産量日本一 85年の歴史 宝塚・上佐曾利の誇るダリア

ダリアの球根は、近年、花壇などで年間約300万球利用されているといわれています。そして、その大半が兵庫県と奈良県で生産されています。

兵庫県の宝塚市上佐曾利(かみさそり)地区は全国生産の約1/4を占める年間約80万球を生産する日本一の産地です。当地では、85年前の1930年(昭和5年)に栽培が始まりました。当時は農村恐慌と、食糧増産至上主義という大変な時代でしたが、ダリアの花一束が米1俵の値段で売れる、ということで、当地区のほとんどの農家がダリアの栽培に携わったほどでした。

1935年(昭和10年)には、花の栽培者で構成された「佐曾利園芸組合」が結成され、関西の花き園芸生産のさきがけ的存在となりました。

第二次大戦中には、^{たけ だちょうべい い せいやくがいしゃ}武田長兵衛製薬会社(現在の武田薬品工業株式会社)が、球根に含まれているイヌリンという物質に興奮作用があるということを発表したことにより、兵士(特に特攻隊員)の志気を高めるために軍部より栽培命令を受けた、という悲しい歴史もありました。しかし、そのことで戦後いちちはやく花の産地として復興できた、という恩恵も受けました。また、戦後すぐ、愛知県出身の故・^{き とうつね たろう}鬼頭常太郎氏の指導で挿し芽繁殖の技術がもたらされたことにより、球根生産の増大が可能となり、1970~1971年(昭和45~46年)のピーク時には、年間300万球が生産され、うち100万球がアメリカやカナダなどへ輸出されました。

現在は15戸の農家が生産しており、約4haの生産圃場に夏から秋にかけてダリアが咲き乱れています。

なお、上佐曾利公民館の敷地内に鬼頭常太郎氏の功績をたたえた碑が設置されています。

また、全国にダリア園はいくつかありますが、どこのダリア園も品種展示が中心です。

しかし、ここのダリア園は品種の展示とともに、自分の気に入った花を切って持ち帰ることができる日本で有数のダリア園です。また、気に入った花の球根を求めたいときは、直接ここで注文することもできます。





たからづかの ダリア

2014年5月
あいあいパーク

ダリア監修：春井 勝

表紙写真：上佐曾利地区のダリア園